

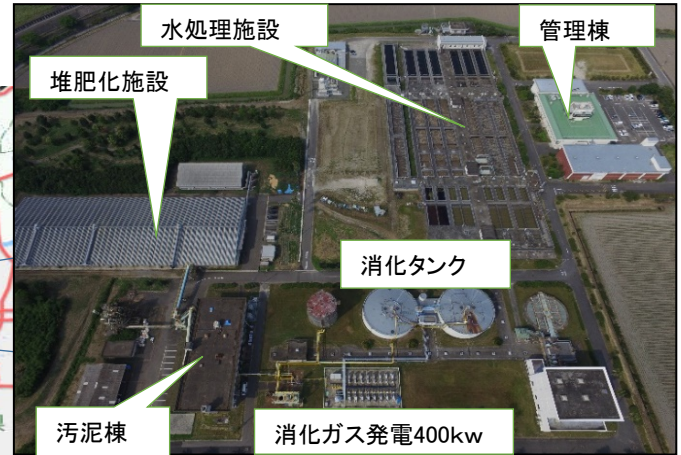
佐賀市下水浄化センターの取組を学ぼう (SDGs・水処理・消化ガス発電・汚泥肥料化)

施 - 7

下水浄化センターは、公衆衛生の向上はもちろんのこと、自然環境の保全や環境教育など、あらゆる面から持続可能な社会づくりに寄与しています。

これらは、水や環境、エネルギー、教育など、重要な行政テーマも取り扱うSDGsにも貢献しています。

- ・見学日：平日 10:00～16:00
- ・見学場所：佐賀市下水浄化センター



	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>下水浄化センターの設備を公開し、技術者や市民などの研修・見学を受け入れています。</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>有明海での海苔養殖期には、栄養分を多く含んだ処理水を放流しています。</p>
<p>処理水</p> <p>下水処理水が海苔養殖やスッポン養殖など地域に貢献</p>	<p>2011年バイオガス発電を開始</p> <p>メタン発酵 → バイオガス発電 → 発電</p> <p>電力自給率の向上を目指します</p> <p>電力自給率40%</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>バイオガスは再生可能エネルギーであり、発電された電力で下水浄化センターの消費電力の約40%をカバーしています。発電によるCO2削減の環境付加価値は、グリーン電力証書として活用されています。</p>
<p>汚泥</p> <p>脱水汚泥</p> <p>下水処理センター</p>	<p>100%肥料化 肥料</p> <p>YM種 + アミノ酸</p> <p>超高温発酵を繰り返し、45日間で肥料となり、さらに30日間寝かせて完熟させる。</p> <p>さらさらとした土のような肥料</p> <p>肥料を各自持ち帰った袋に詰め計量</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>処理水を無償で提供、汚泥を肥料化して安価に販売することで、農家等の出費抑制に寄与しています。汚泥を肥料化して有効利用することで、廃棄物を削減しています。</p> <p>発生する下水をきれいに浄化し、本庄江を通じて有明海へ放流しています。</p>

申し込み方法

- 1) 申し込み先 :
 - 住所 : 佐賀県佐賀市西与賀町大字高太郎2667番地 佐賀市上下水道局 下水道施設課
 - 電話 : 0952-22-0181
 - FAX : 0952-28-4562
 - E-mail : gesushisetsu.sui@city.saga.lg.jp
- 2) 申し込み方法 :
 - 佐賀市上下水道局ホームページの施設見学または下水浄化センターの取組を選んでいただき、「[バイオマス産業都市さが視察申込](#)」で受け付けています。10日程度前までにお申し込みください。
- 3) その他
 - お申し込みにあたりましては、いくつかの留意点がありますので、まずはお電話でお問い合わせください。その際、[インフラツーリズム](#)を見てを申し添えてください。